

第6回滋野地区地域づくり推進検討会議 議事録

開催日時：平成 24 年5月16日（水）
午後7時から午後9時10分
場 所：片羽コミュニティセンター

出席者：※○

J A信州うえだ滋野店店長	宮下 清行		赤岩区長	入口 和義	○
滋野地区活性化研究委員会会長	吉田 周平	○	片羽区長	荻原 薫	○
滋野地区活性化研究委員会副会長	唐澤 孝夫	○	桜井区長	寺島 義昭	○
滋野地区活性化研究委員会副会長	柳澤 幸徳		大石区長	土屋 建治	○
滋野地区活性化研究委員会副会長	関 勝人		滋野地区区長会長（中屋敷区長）	唐澤 孝夫	○
滋野地区活性化研究委員会部会長	丸山 克寿	○	別府区長	小川原 雅	○
滋野地区活性化研究委員会部会長	高藤 征紀	○	原口区長	若林 朝登	○
滋野地区活性化研究委員会部会長	斉藤 紀正	○	聖区長	若林 敏雄	
生涯学習まちづくり滋野地区推進委員長 滋野地区活性化研究委員会部会長	麻見 明利	○	乙女平区長	日下部 安秀	○
交通安全協会滋野支会長	花岡 種男		王子平区長	小林 吉則	○
商工会滋野支会長	市川 實	○	出席者計 24名		
滋野地区青少年育成協議会会長	後藤 富美男	○	委員参加率 72.7%		
滋野小学校PTA会長	尾沢 治夫				
滋野小学校PTA副会長	土屋 茂一		地域づくりアドバイザー 長野大学	山崎 隆之	○
滋野地区分館長会長	高橋 晴信	○	地域づくりアドバイザー 長野大学	河野 良治	○
道の駅駅長	唐澤 光章	○	事務局 企画課長	寺島 尊	○
中学校PTA支部長会長	小宮山 美穂	○	事務局 企画政策係長	小菅 武志	○
保健補導員会滋野地区会長	寺島 暁美	○	事務局 企画課主査	掛川 一郎	○
民生・児童委員会滋野地区会長	関 茂				
高齢者クラブ地区会長	掛川 恒雄	○			
消防団第2分団分団長	清水 隆晴	○			
消防団第2分団副分団長	長岡 利哉	○			
滋野保育園保護者会長	馬場 真美				
東保育園保護者会長	田村 美絵	○			

1. あいさつ要旨（企画課長）

- ・年度切り替えによって役員が交代したため、本日はまず経過説明をさせていただく。
- ・滋野地区の魅力ある地域づくり推進については、行政が計画を示すのではなく、地域住民の皆さんが主体となって考え、築き上げていくことが決定されている。
- ・6回目の会議であり、今後はこれからの活動や活動するにあたっての組織づくりも議論になってくるので、十分に意見交換をお願いしたい。

2. 経過説明（小菅課長補佐）

- 小学校区の考え方、目的
 - 平成 23 年度市の地区の取り組み状況について
 - 滋野地区の今後の推進について
 - 他地区の推進について
- <省略> 会議資料のとおり

3. 滋野地区の地域資源等の意見交換

(1) 前回会議の意見交換について

事項・発言者	発言内容
(山崎講師)	<p>(前回会議の意見交換を受けて)</p> <p>「滋野地区地域づくり」についてこれまでの議論を整理してみました。</p> <p>前回までの議論の中では、滋野地区の地域資源を掘り起こすことが、地域づくりの出発点になるという観点から、食文化や昔の遊び、伝統・歴史について掘り下げていただきました。</p> <p>本日の資料は、前回皆さんからお出しいただいた内容をまとめたものです。これらの中から、皆さんが活動していくにあたっての、切り口となる取り組みが絞り込めるのではないかと考え集約しています。(また一例として、松本市「松本こどもまつり」、東御市和地区「ふるさと和」冊子に係る新聞記事を併せて紹介します。)</p> <p><中略></p> <p>市内の和地区では、このように昔遊びを冊子にまとめ、継承していこうと試みていますが、滋野地区ではこの昔遊びを(イベント等で)実践してみせるといった取り組みを進めることも(地域づくりの第一歩として)形になると思いますが、如何でしょうか。また、昔遊びに限らず、(地域づくりの出発点として)滋野地区で出来そうなことはどんな内容でしょうか。</p> <p>仮に、滋野地区ふれあいの集いで発表していくことを考えると、形にできそうなものはどのあたりでしょうか。</p>
(意見1)	<p>今言われたような取り組みは既にやっています。活性化委員会や滋野地区まちづくり推進協議会など、母体は違うものの、今紹介されたほとんどの内容は既に行っている取り組みです。雷電くるみの里でも相撲大会をやったりしているし、また、お陰さまで、県の元気づくり支援金をいただいて、地域の誇れるもの、伝統・文化についても現在集約し、冊子にまとめるよう準備しています。</p> <p>(それより)私の思うところは、区長会、活性化研究委員会、生涯学習まちづくり推進協議会のすべてに区長が絡んでいて、市からの要請によって、それぞれの会議へ出席している現在の仕組みを変えていくことの必要性です。</p> <p>できることなら一つの組織にして、3回も会議に行かなくて1回でいいとなれば、合理化にもなるし、滋野地区の地域づくりを進めるにあたってのベースとなるかと考えますが、皆さん如何ですか。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>(今のご質疑ですが)確かに第1回の会合では、地区を代表する組織のあり方を切り口として問いかけを行った経緯があり、その内容を踏まえてのご意見であると思います。(本日は、初めて話し合いに参加された方もいらっしゃいますので、今までの経緯を報告させていただきますが)この「組織づくり」に関する議論は、昨年のもちづくり懇談会の際に市長から示された地域づくりの方針を受け、一時大変な議論になった経緯がございます。</p> <p>今まで区単位に考えられてきたことを、地区全体として捉え、将来的には地区組織が様々な課題を集約し、自主的に考えていくことが必要ではないかという、地域づくり施策の中で、今後は小学校単位のまちづくりを進め、地区を代表する組織が地域の諸問題を自主的に考え活動できれば、今まで各区に市として補助していたお金を集約し、地区単位で自由に使える一括交付金を創設していくことも可能になると、説明させていただいたことが発端だったかと思います。</p> <p>しかし、この内容をお聞きになった皆さんの中に、地域づくり＝“新たな組織構築”との受け止め方が先行してしまい、(地域の将来を皆で描いた結果に基づく組織づくり)趣旨とは異なった認識が流布してしまった経緯があります。</p> <p>そこで、3回目の会合から、この滋野地区の地域づくりを描いていくにあたって、(皆が求める組織の姿を探すために)アドバイザーの先生方に関わっていただく中で、滋野地区で誇れるものやPRできるもの、また子供たちに残していきたい滋野地区の伝統、文化等を話の切り口に、滋野地区の地域素材の掘り起こしを進めてきました。</p> <p>そんな中で、前回の話し合いでは、皆さんのご意見として、食文化は将来に残していくべき必要性があるから事業として取り組んでいこうということが確認され、それを伝えていくにはどんなイベント、地域行事があって、どんな活動組織によって、どう活動に結び付けるのか、といった議論があった訳です。</p> <p>ただ今のご意見も、(このような話し合いの経過を踏まえた上でのご意見であろうと思いますが、)現に、滋野地区では活性化研究委員会が4部会で活動している中で、その組織を母体として、この組織では足りない取り組み(例えば、PTA活動、老人会活動)を加えることによって、滋野地区を代表する団体として位置付け、課題解決、意見集約の場としていくことになっていけば、一番理想なことだと思っております。</p> <p>ただ、私ども行政の立場からは、そういった既存組織を利活用して再編してくださいと申し上げる訳にはいきませんので、皆さんでご議論いただきたいと思っております。</p>
<p>(意見2)</p>	<p>確かに、第1回目の会合では、皆が勘違いして「(組織を作れば)いくら交付金をくれるのか」といった議論がありましたが、それは違うと感じます。しかし、もう一つ私が意見したことは市役所内部の地区組織への考え方の問題です。</p> <p>市役所には企画課や生涯学習課といった機関があって、(それぞれの目的を達成するために)縦のラインによって同じような組織をつくらせている実態があります。</p> <p>ですから、市役所の中に自ずと、(会の目的は違うが)参加メンバーが同じ2つの</p>

	<p>団体が出来てしまっている訳です。(第1回目でも申し上げましたが)私は、市役所の組織に対する考えを変えてくださいと申し上げたいのです。そうでないと現状では(役所の都合で)どうしても2つにならざるを得ない状況があるのです。</p>
(事務局)	<p>第1回目の会合で提起された、今の内容に関しましては、生涯学習課とも話をしました。その中では、仮にまちづくり推進協議会の活動を活性化研究委員会が担うことがあっても、それは滋野地区が生涯学習まちづくりの目的達成のための受け皿として判断されたのであれば、行政内部としては問題ないという判断でありました。</p>
(意見3)	<p>新しい組織をつくるというのではなく、今ある2つの母体を融合させ、不足する取り組みは補完し、とにかく一つしていくとすれば、非常にうまくいくと思います。</p>
(意見4)	<p>確かに、いろんな会議に参加しても顔ぶれがいつも同じだなと感じています。それが整理できれば非常に素晴らしいと感じています。区長さんの負担も軽くなると思います。</p>
(意見5)	<p>私も今年、区長会長になって、その都度、会議通知をもらって出席しますが、同じような会合がいっぱいあるという認識です。広義の目的は恐らく同じだと思うので、何か工夫していただければ非常に動きやすくなると思います。</p>
(意見6)	<p>私も区長会長をやらせていただいて、(同じような会議)組織のあり方を見直すよう提案した経緯がございます。しかし、東御市の組織に関する考えは変わりませんでした…。</p>
(意見7)	<p>企画課は庁内の調整役だから、今のような話はすぐに反映させるべきではないか。区長もくたびれてしまうと思います。</p>
(意見8)	<p>行政には縦枠があって、一つの窓口で解決しないのも欠点だと思います。区長という立場で企画課へ行ったり、生涯学習課へ行ったり、これも問題で大変でならないと思います。</p>
(事務局)	<p>行政の枠組みについてのご意見が多数ですが、このことについても、この会議の場で議論いただきたいと思っています。他地区でも同様の報告がありますし、皆さんの総意で一つの組織で運用すると決定した場合は、意に沿うよう調整を図っていきたいと思います。</p>
(河野准教授)	<p>統一組織の問題は、今の議論過程で解決できるのではないかと思います。しかし、私が提案したいことは、(その組織によって)子供たちに何を残せるか、についてであります。地域自治も教育もすべて解決できる組織として、一本化組織を検討したということであれば何の問題もないでしょう。</p>
(山崎講師)	<p>モデル地区ですから、先進的なことはどんどんおやりになればいいと思います。実際に組織が分かれてしまっていることで弊害があるなら一緒にして、市役所の組織が分かれていても、受け取る窓口は一つにしてやってみるとなれば、市役所にも逆提案できるのではないのでしょうか。</p>
(意見9)	<p>地区組織＝地域の受け皿としては、一本化でいきましょう。新たな組織づくりは滋野地区で十分に相談して、活性化委員会を母体に足りない部分を描いていけば、新しい組織は自ずと描けると思います。</p>

(事務局)	滋野地区は新たな組織で（地域活性も教育もすべて）一本化し、窓口とするなら、行政もそのような対応にならざるを得ないと考えます。
(意見10)	地域づくりに関しては、単に市長の思いつきで進めるものとしてではなく、しっかり腰を据えて対応してもらいたいと思います。滋野地区でも、これを機に（行政の分野毎の目的に合致した）組織づくりを進めるので、行政も十分な対応をお願いしたいと思います。
(事務局)	地域の皆さんが主体でありますので、行政が青写真を描いて皆さんを誘導するような、第1回目の会合における進め方は致しません。皆さんのご意見をいただいて形づくっていきますので宜しくお願いします。
(意見11)	滋野地区が活性化すればいいわけですから、人づくりもすれば、物づくりもする、オールマイティーな組織をつくって対応すればいいと思います。加えて女性の委員さんに多く参画いただければ、発想力が大いに期待できると思います。
(山崎講師)	例えばこの会議を次回から、活性化委員会と合同開催というようにしてはどうでしょうか。
(意見12)	(活性化・文化部)としては、毎回携わることは困難だと思います。
(河野准教授)	ではどうすればいいのでしょうか。例えば、私たちが出来ることなら協力しますが、如何でしょうか。皆が参加する組織はつくってもらいたと思いますが。
(意見13)	(活性化・こども部会)としては、親も子供も忙しい中、行事を増やせばPTAの活動にも影響が出てしまうので、今ある行事の中で活動を考えているところです。しかし今一番難しくなってきたのが、親の協力が少なくなってきたということです。それを地区全体の課題として考えていただき、また子供たちのために八幡池の改修を地域全体で考えていただく場ができるとなれば大変意義があります。組織づくりには大いに期待をしています。
(意見14)	(組織構築にあたり)市民の手で地域づくりを進めている先進地へ視察研修にしてみるのも一つの方法ではないでしょうか。先立つお金が必要であると思いますが…。
(事務局)	先ほど、交付金のお話を致しましたが、皆さんの総意で視察を希望されるなら、この交付金を使って取り組まれることは問題ないと思います。
(河野准教授)	(先進的な自治会活動の事例として)私たちが、アドバイザーの立場から、例えば徳島県・上勝町や(上杉鷹山で有名な)米沢市の取り組みをご紹介することは可能です。でも如何でしょう、ようやく組織づくりの話題で活発な議論がされていますので、(視察などに)時間をかけず、もう一歩進めませんか。また役員が変わって一から話し合いを進めていくのでは困りませんか。
(意見15)	組織の話題にようやく至っていますので、今ある組織を見直すことをまず進め、その中で、今まで話し合ってきた、地域食文化のアピールといった具体的な行動に移していくよう、方向を打ち出したら如何ですか。
(河野准教授)	ありがとうございます。私たちはDVDなどで先進地事例の紹介しお手伝いしていきます。でもこの会合のスピードが2か月後というのはちょっともったいない気がします。役員も変わってしまう中で、これからさらに時間を費やすことが必要なのでし

<p>(事務局)</p>	<p>ようか。</p> <p>(役員交代に関しては)各団体の代表者の皆さんが任期によって交代して一からまたスタートでは、確かに議論の継続性といった観点から困難な面があると思っています…。</p>
<p>(意見16)</p>	<p>(この推進会議もそうですが)区長さんの交代は仕方がないにしろ、核になる方は趣旨を理解いただき継続的に残っていただくことが大事だと思います。</p>
<p>(意見17)</p>	<p>組織を一本化すれば、役員の数も少なくても機動的になるわけだから、この推進会議だって、新しい組織を見越して、2か月に1回なんて悠長なことではなく短期集中でじっくり話し合うことが必要ではないでしょうか。</p>
<p>(意見18)</p>	<p>区長さん方については、(1年交代がゆえに)引き継ぎをしっかりといただくことが肝要であると思います。(特にこの地域づくりが議論されている中では)区長さん方も気を使って引き継ぎをしっかりとやる意識が必要ではないでしょうか。</p>
<p>(意見19)</p>	<p>おっしゃるとおり、区長もしっかりして、1年間で形にするぐらいの姿勢がないといけないと思います。</p>
<p>(意見20)</p>	<p>まちづくり推進というのは、今までは我々が(行政に対して)あれをやってもらいたい、これをやってもらいたいという要望をぶつけて、受け身でまっていた形から、今後は自分たちの手で自分たちが考えたことを進めていくということを柱に(予算などを得て)取り組むというのが趣旨であると思います。行政はあくまでもサポート役だと認識しなくてはならない。だからこそ我々もしっかりわきまえて(河野先生がおっしゃるように)前に進める必要があると思います。</p>
<p>(意見21)</p>	<p>提案ですが、先ほどから議論があるように区長会は別として、活性化委員会を母体として、今の活性化委員会に足りない取り組みを補い、新たな組織としていくと決めたいのですが如何でしょう。</p>
<p>(意見22)</p>	<p>区長会だって組織一本化の中では(組織の核たる役員としてではなく)委員として携わっていけばいいと思います。</p>
<p>(意見23)</p>	<p>生涯学習まちづくり推進協議会にはPTAや公民館などが入って活動していますから、活性化推進委員会と+して二で割れば、すべて網羅でき、自ずと新しい組織になりませんか。</p>
<p>(山崎講師)</p>	<p><全員>その通りだと思う。</p> <p>それでは如何でしょう、本年度は、この推進会議を使って、ちょっとずつ合同された組織の姿を考えていくというのを1年間やってみませんか。組織から作ろうとする団体の方だけに陥ってしまうと思うので、本年はこの推進会議を進めていく中で、(地域づくりに)必要な人にはどんどん参画してもらおう方法は如何でしょう。</p> <p><全員>賛成。</p>

<p>(意見24)</p>	<p>なるべく早く進めよう。というより、そんなに時間はかからず、組織が立ち上がっていきように思いますが…。</p>
<p>(山崎講師)</p>	<p>行政の対応もそんなに早くはないと思うので、これからは新組織でいきますと決めてしまったら問題が生じてしまうとも考えられます…ですから今年度は先ほど説明のあった交付金をこの推進会議で有効に使いこなしていければいいと思いますが如何でしょう。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>今ある推進会議を今年度の交付金団体とするのか、また今ご議論いただいている「活性化委員会」「まちづくり推進協議会」の融合団体が交付金対象団体になるのかは皆さんで決めてくだされば結構です。</p> <p>いずれにしても、市では、来年度4月を目標に、「まちづくり協議会」と「活性化委員会」の枠組みを取り払うという課題を調整させていただきます。</p>
<p>(山崎講師)</p>	<p>それでは、次回の会合はいつごろとしましょうか。次回の会合では今年度具体的に行動していく内容(主に活性化委員会で取り組んでいる内容をもっといろんな皆さんの参加を得て)決めていくことになるかともいますが、如何でしょう。</p> <p>その際に、私どもでは地域づくりの取り組み事例を紹介していきたいと思います。また、話し合いは、核がない中でバラバラ発言があってもなかなか決まらないものです。現に活性化委員会で取り組んでいる内容をさらに効果的にするためにはどういった要素を加えていけばいいのかを議論の核に据えれば、有意義なものになると思います。</p> <p><全員>異議なし。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>それでは、次回の会合はふれあいの集いに向けての具体的な取り組み事項の意見交換と地域課題の整理、さらには交付金を利用するための活動団体とその代表者の選定について決めたいと思います。宜しいでしょうか。</p> <p><全員>賛成。</p> <p><全員>次回開催は、6月20日(水)午後7時としましょう。</p>

4. その他

特になし

5. 閉 会 (企画課長)